

保険・年金 フォーカス

年金改革ウォッチ:2013年4月 ～ポイント解説:公的年金財政の枠組み

年金総合研究センター 主任研究員 中嶋 邦夫
(03)3512-1859 nakasima@nli-research.co.jp

1 —— 先月までの動き

精力的に開催されている社会保障制度改革国民会議は、今後の進め方を検討し、当面は高齢者医療制度等の「介護・医療」を中心とした議論を進めることになりました。

また年金記録問題への対応として、社会保障審議会に新たに「年金記録問題に関する特別委員会」が設置され、初会合が開催されました。

○2013年3月13日 社会保障制度改革国民会議（第6回）

テーマ これまでの議論の確認及び「基本的な考え方」の整理に向けた議論、今後の進め方など

URL <http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kokuminkaigi/dai6/gijisidai.html>（配付資料）

○2013年3月26日 社会保障審議会 年金記録問題に関する特別委員会（第1回）

テーマ 「年金記録問題に関する特別委員会」の設置について、年金記録問題の概要など

URL <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000002yf7b.html>（配付資料）

○2013年3月27日 社会保障制度改革国民会議（第7回）

テーマ 関係者を交えての議論(四病院団体協議会、日本歯科医師会、日本薬剤師会、日本看護協会、全国老人福祉施設協議会、民間介護事業推進委員会)

URL <http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kokuminkaigi/dai7/gijisidai.html>（配付資料）

○2013年3月29日 社会保障審議会 年金数理部会（第54回）

テーマ 公的年金財政状況報告－平成23年度－について

URL <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000002yqht.html>（配付資料）

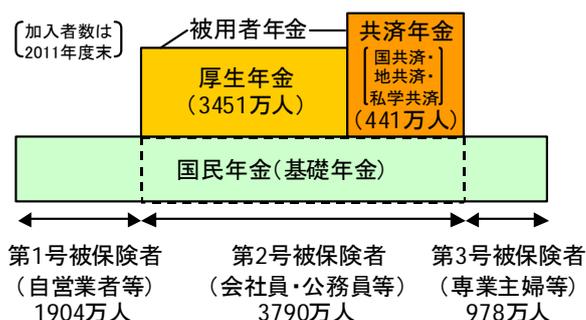
2 —— ポイント解説：公的年金財政の枠組み

先月末の社会保障審議会年金数理部会では、2011年度の公的年金全体の財政状況の分析結果が報告されました。そこで今回は、分析結果を見る前提となる公的年金財政の枠組みを解説します。先日の分析結果をみるためだけでなく、昨夏に法案が成立した被用者年金の一元化やマクロ経済スライドの今後を理解するためにも、財政構造の理解は重要です。

1 | 制度上は、ほぼ全員が国民年金に加入し、基礎年金を受け取る仕組み

財政構造に入る前に、年金制度の構造を説明します。図表1はよく見る図ですが、「国民年金（基礎年金）」の部分が分かりにくいと思います。この部分は、「公的年金加入者のほぼ全員が国民年金という制度に加入し、将来は基礎年金という年金を受け取る」ことを表しています。自営業者等は国民年金にのみ加入し、将来は基礎年金のみを受け取ります。会社員は、国民年金に加えて厚生年金という制度にも加入し、将来は基礎年金に加えて厚生年金という年金を受け取ります。公務員等が加入する共済年金は、会社員にとっての厚生年金と同じ位置づけの制度です。

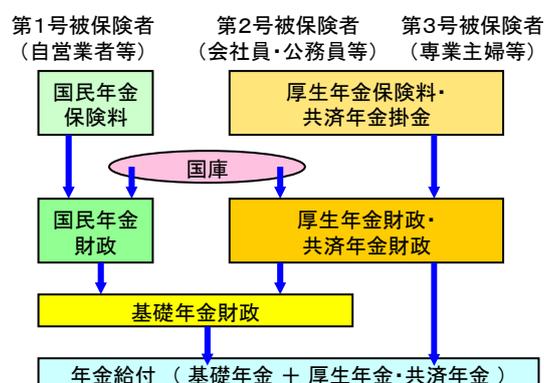
図表1 公的年金制度の構造



2 | 財政上は、働き方別の財政(いわば“財布”)に保険料を払い、各財政が基礎年金費用を拠出

制度としては公的年金加入者のほぼ全員が国民年金という制度に加入しますが、財政の枠組みは異なります。国民年金保険料は自営業者等だけが支払います。会社員や公務員は厚生年金保険料や共済年金掛金を支払い、それが厚生年金や共済年金の財政(いわば“財布”)に入ります。基礎年金の給付に必要な資金は、半分を国庫が各財政に支払い、各財政が国庫分と合わせて基礎年金財政に支払います。年金を受取る際は意識されませんが、財政構造としては、基礎年金財政が基礎年金を、厚生年金や共済年金の財政が厚生年金や共済年金を支払う仕組みです。

図表2 公的年金財政の構造



(注) 共済年金の財政は実際は3つに分かれているが捨象。

3 | 公的年金給付の総額は約50兆円で、そのうち約20兆円が基礎年金

具体的な財政状況は図表3のとおりです。大雑把にみると、公的年金給付の総額は約50兆円で、そのうち約20兆円が基礎年金です。財政ごとにみると、大半が厚生年金です。被用者年金の一元化で共済年金が厚生年金に統合されると、公的年金財政のほとんどが厚生年金になります。国民年金の財政規模は全体の1割弱で、支出のほとんどが基礎年金への拠出です。国民年金の財政は小さいですが、その財政状況と基礎年金の給付水準は深く結びついています。

図表3 年金財政の状況(2011年度・兆円)

	国民年金	厚生年金	共済年金	全体	基礎年金
収入	4	35	8	47	21
保険料収入	2	23	4	29	-
国庫等負担	2	8	1	11	-
運用益(時価)	0	2	1	4	0
他制度から	-	-	-	-	21
支出	3	38	9	50	21
給付費	0	22	6	28	21
基礎年金へ	3	16	2	21	-
収支(時価)	0	-3	0	-3	0

(注) 収支両面から基礎年金交付金を控除。